

バイオスーパーコンピューティング研究会 第一回総会 資料

第一回総会のご案内

開催日時：2009年10月8日(木) 12:05 - 12:45

(次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム 2009 の二日目午前の分科会 D「予測する生命科学・医療および創薬基盤」が終わり次第、引き続いて開催いたします)

会場：MY PLAZA ホール (千代田区丸の内 2-1-1)

(次世代スーパーコンピューティング・シンポジウム メイン会場です)

議題：

- バイオスーパーコンピューティング研究会 会長挨拶と設立経過報告
- 会則の要点説明と会員了承事項の議決
(会則の内容については裏面資料 2 をご覧ください)
- 役員紹介
- 今後の抱負と活動計画、質疑応答等

その他につきましては、リニューアルした研究会ホームページ: <http://bscrc.riken.jp> をごらんください。

(資料 1)

2009年7月1日

「バイオスーパーコンピューティング研究会 (BSCRC: BioSuperComputing Research Community) 発足にあたり

昨年 2008 年 12 月 25 日以来「バイオスーパーコンピューティング研究会」の設立を呼びかけてまいりましたが、2009 年 5 月 13 日時点で 81 名の多数の方のご賛同と発起人のご参加をいただきました。

当研究会設立準備会では、これに基づき研究会発足のための準備をしておりましたが、本日 2009 年 7 月 1 日付で「バイオスーパーコンピューティング研究会」を発足いたしました。既にメールにてお知らせしておりますように、これまでに発起人としてご参加いただいた方々には、入会手続きなしに自動的に正会員へ移行していただくことにしております。

第 1 回の研究会総会を、2009 年 10 月 7 日(水) - 8 日(木)に開催される理研「次世代スーパーコンピューティングシンポジウム」の期間中に行う予定であり、その総会にて正式な決議等を行うことにしております。それまでは、中村春木 大阪大学蛋白質研究所教授が会長、姫野龍太郎理化学研究所次世代生命体統合シミュレーション副プログラムディレクターが副会長の役を勤め、当研究会設立準備会メンバーが理事としてその職務を果たすことになりました。

本研究会では、スーパーコンピュータを用いた生命科学分野でのシミュレーションや大規模データ解析を通して、これまでにない「予測する生命科学」という学問領域を確立したいと考えております。この目的のために、個体、器官、組織、細胞、分子の様々なレベルにおける計算科学・情報科学研究およびそれらを統合する研究を対象として、医学、細胞生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、薬学、化学、物理学、工学、情報科学等さまざまな異なる分野の研究者が集い、特に若い研究者の力を結集していただくことによって、スーパーコンピュータを活用した新たな生命科学の学問文化が花開くことを期待しております。本研究会が、そのようなコミュニティーの場を提供する役割を果たす事ができるよう、理事一同、努める所存です。

今後とも、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。

バイオスーパーコンピューティング研究会

会長 中村 春木 (阪大)

副会長 姫野 龍太郎 (理研)

理事 秋山 泰 (東工大)

木寺 詔紀 (横浜市立大)

末松 誠 (慶応大)

バイオスーパーコンピューティング研究会 会則

第1条 本研究会は、バイオスーパーコンピューティング研究会 (BSCRC: BioSuperComputing Research Community) という。

第2条 本研究会は、スーパーコンピュータを用いた生命科学分野でのシミュレーションや大規模データ解析を通して、生命体における現象を統合的に理解し予測を行う新たな科学領域の進展を支え、育成・発展させて、わが国における学問・文化・産業の発展に寄与することを目的とする。この目的のため、個体、器官、組織、細胞、分子の様々なレベルにおける研究およびそれを統合する研究を対象として、医学、細胞生物学、分子生物学、生化学、生物物理学、薬学、化学、物理学、工学、情報科学等さまざまな分野の研究者が集い、産官学にわたる研究者間の交流を図るとともに、国際的な連携や情報発信を推進する。

第3条 本研究会は、前条の目的を達成するため、次の活動を行う。

- 3-1) 研究会等の学術的会合の開催
- 3-2) 本分野の研究に関する国内および国際交流
- 3-3) 関連機関や他の学会・研究会との連携
- 3-4) その他、前条の目的を達成するために必要な活動

第4条 本研究会の会員は正会員と賛助会員とする。

- 4-1) 正会員は、スーパーコンピュータを用いた生命科学研究に従事し、またはこれに関心をもつ個人であって、本研究会の目的に賛同する者をいう。
- 4-2) 賛助会員は、本研究会の目的に賛同する個人または団体を言う。

第5条 本研究会の会員に対する年間会費は課さないものとする。ただし、本研究会が実施する会合や活動においては、その都度、参加者に対する参加費を課すことは妨げない。

第6条 正会員および賛助会員になろうとする者は、それぞれ所定の入会申込書に必要事項を記入して会長に提出し、会長の承諾を得なければならない。

第7条 会員は、次の理由によってその資格を喪失する。

- 7-1) 会員から会長に届け出て退会する場合。
- 7-2) 理事会の議決により、会員として不適格と認められた場合。
- 7-3) 禁治産者あるいは準禁治産者の宣告がなされた場合。
- 7-4) 死亡、失踪宣言、団体の賛助会員にあつてはその団体の解散がなされた場合。

第8条 会員の個人情報の取り扱いについては別途プライバシーポリシーにて定める。

第9条 本研究会には、会長1名、副会長1名、理事若干名を置く。

- 9-1) 会長は本研究会を代表し、その業務を統括する。
- 9-2) 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるとき、または欠けたときは、会長の職務を代行する。
- 9-3) 理事会は会長、副会長、理事により構成され、本研究会とその活動に関する諸事項を審議し、事業を執行する。
- 9-4) 本研究会の事務を執行するため、理事会の協議により事務局を設ける。

第10条 会長、副会長、理事は、細則の定めにより、正会員の中から選出され、総会の承認を得る。

第11条 会長、副会長、理事の任期は、原則として総会翌日からそれぞれ2年間とする。

第12条 会長、副会長は、連続して2期行うことはできない。

第13条 連続2期4年間選出された理事は、その後1期2年間は理事として選出されることはできない。

第14条 本研究会は、原則として年1回総会を開き、会務を協議し、議決する。総会は会長が招集し、正会員総数の1/4以上の出席(委任状を含む)によって成立するものとする。

第15条 本会則の変更ならびに本会の解散は、総会の議決により行う。

第16条 本会則の執行について必要な細則は、理事会の審議を得た後、会長が総会に報告し承認を得て、別に定める。

附則

第17条 本会則は、平成21年7月1日から施行する。

第18条 本研究会の発足時においては、第6条の規定にかかわらず、本研究会の発起人に対しては、この規定による手続きを省略できるものとする。

第19条 本研究会の発足時においては、第10条の規定にかかわらず、設立準備会のメンバーが理事会を構成し、理事会における議決により会長と副会長とを選出することとする。

(以上)